

再び

『社会で働く』を考える

もし、あなた自身が...あなたにとって大切な人が

突然の病気や事故で“高次脳機能しょうがい”になったら

日時

平成30年 **3月16日(金)**
13時30分～16時30分〔開場13時〕

場所

国立市公民館 地下ホール

(東京都国立市中1-15-1) ※場所の詳細は裏面をご覧ください

高次脳しょうがいって何？

脳損傷や脳外傷等による後遺症で、誰にでも起き得る中途しょうがいです。外見上からは分かりにくく、本人も自分の症状を理解することが難しい場合もあることから「見えにくいしょうがい」といわれています。

後遺症による症状で困りごとを抱えている当事者やご家族、これから働きたい・復職したいと思っている方、企業の人事担当の方、リハビリやサポート等に携わっている関係者の皆さま、再び働くことに向けたヒントを得る機会として是非ご参加ください！

- 脳損傷（脳卒中・脳出血・くも膜下出血）・低酸素脳症・事故による脳外傷等の後、こんなことはありませんか？
 - ▶ 新しいことが覚えられなくなった ▶ 気が散りやすい ▶ 何度も同じ質問をする ▶ 家事や仕事を効率的にすすめられなくなった
 - ▶ 約束や時間を忘れてしまう ▶ 話そうとしても言葉が出にくい ▶ すぐに怒るようになった など

参加費
無料定員
80名車いすOK
手話通訳あり

◆ 第1部：講演

当事者、就労支援機関から伝える『再び働く』について

- ▶ 当事者 Sさん（内容：受傷から10年経った今だからこそいえる直面したこと・工夫してきたこと）
- ▶ NPO法人まひろ 障害者就業・生活支援センター アイ・キャリア
理事長 根本真理子氏、就業・生活支援コーディネーター 沖 裕幸氏
（内容：障害者雇用の現状、病院・地域等との連携、当事者と職場の就労支援の実際）

◆ 第2部：パネルディスカッション

各立場の取り組みから考える『再び働く』に向けて

発症～回復～リハビリ～日常生活・職業生活における支援の実際や、企業が採用～定着で重視していること等、再び働くことに向けて会場の皆さまと共に考えます。

パ
ネ
リ
ス
ト

- ▶ 作業療法士：北原国際病院 峯尾 舞氏
- ▶ 企業人事担当：トッパン・フォームズ株式会社 総務本部人事部 鈴木 康之氏
- ▶ 就労支援機関：NPO法人まひろ 障害者就業・生活支援センター アイ・キャリア
理事長 根本真理子氏、就業・生活支援コーディネーター 沖 裕幸氏
- ▶ コーディネーター：東京障害者職業センター多摩支所 主任障害者職業カウンセラー 井上 量氏

関心のある方は
どなたでも参加できます

医療機関や関係機関、企業の方は、FAXでお申し込みください。当事者やご家族、その他市民の方は、事前のお申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

【問い合わせ先(主催)】 国立市役所しょうがいしゃ支援課 相談支援係〔担当：楠本・吉松・松岡〕

Tel：042-576-2111（内線148）／FAX：042-573-1102

【協力】 高次脳機能障害者と家族の会 多摩支部、国立市自立支援協議会しごと部会

